

11月は「エコドライブ推進月間」

環境みどり課(235)49-12

11月は「エコドライブ推進月間」です。同月間はエコドライブの普及・促進を目的に、警察庁・経済産業省・国土交通省・環境省で構成する「エコドライブ普及連絡会」が定めたもので、同月間中は全国各地でイベントなどを通じて、積極的な啓発活動を行います。11月29日(日)に開催する市の「エコカー＆エコドライブフェスタ in えびな 2015」でも、エコドライブやエコカー、市の補助金制度について紹介します。

エコドライブ10のすすめ エコドライブ普及連絡会 策定・抜粋

エコドライブにつながる重要なポイントはドライバーの意識。環境に優しい社会を目指し、運転時には「**エコドライブ10のすすめ**」を心掛けましょう。

ふんわりアクセル「eスタート」

発進時は穏やかにアクセルを踏みましょう。最初の5秒間で時速20km程度が目安です。

車間距離にゆとりをもって、 加速・減速の少ない運転

一定の速度で走ることを心掛けましょう。



無駄なアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み降ろしなどの駐停車時にはエンジンを切りましょう。

渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

地図やカーナビなどを活用し、行き先やルートをあらかじめ確認しておきましょう。

走行の妨げとなる駐車はやめよう

交差点付近などの迷惑駐車は渋滞をもたらします。迷惑駐車はやめましょう。



不要な荷物は降ろそう

車の燃費は荷物の重さに大きく左右されます。運ぶ必要なない荷物は車から降ろしましょう。



タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。



市には5台のエコカーがある

現在、市が所有するエコカーは5台あります。その内訳は「FCV」1台、「HV」1台、「EV」3台です。

「FCV」(Fuel Cell Vehicle)は燃料電池自動車のことです。水素と酸素の化学反応によって搭載している燃料電池で発電し、モーターを動かして走ります。走行時に二酸化炭素などの有害物質を排出しないため、「究極のエコカー」と呼ばれています。

市内にガソリンスタンド一体型の商用水素ステーションが設置されていることなどから、市では「FCV」を公用車として導入、通常使用のほか、環境啓発事業やイベントなども活用しています。

「HV」(Hybrid Vehicle)は2つ以上の動力源を持つ、主に電気とガソリンを燃料とする車を指します。「EV」(Electric Vehicle)は電気自動車。搭載している電池に蓄えた電気でモーターを回転させて走行します。なお、「プラグ充電可能な車は「PHEV」(Plug-in Hybrid Electric Vehicle)、「ラグインハイブリッド自動車」といいます。



▲市の公用車「MIRAI」は水素を燃料とするFCV。避難所などでは電源としての利用も可能



▲子どもを対象とした出前授業も。水が排出される様子に子どもたちも興味津々

市の補助金制度

※ZEVs: 日本充電サービス。国内の自動車メーカーなどが共同で、電気自動車充電器の設置と充電インフラネットワークの構築を進める目的で設立した合同会社

現在のエコカーは電気自動車やプラグインハイブリッド車が主流。市では、電気自動車に欠かせない充電インフラの整備にも取り組んでおり、市役所来庁者駐車場横と海老名中央公園地下駐車場（地下2階）の2カ所に、電気自動車用急速充電器を設置しています。利用は有料で、NCS*カードまたはZEVs充電器が利用できるカードが必要です。

市には、エコカー購入時の補助金制度があります。詳細は、環境みどり課へお問い合わせください。

(例) 1台につき

燃料電池自動車…15万円
電気自動車…15万円
急速充電可能ハイブリッド自動車…5万円

11/29

エコカー&エコドライブフェスタ in えびな 2015

自動車メーカー各社のエコカーを一堂に展示。その場での商談も可能です。購入などに関する市の補助金案内や家族で楽しめるスタンプラリーも行います。

- ▶日時 11月29日(日)10時～15時
- ▶会場 海老名中央公園
- ▶その他 「緑化ポスターコンクール」および「えびな☆花とみどりの写真コンクール」の表彰式を同時開催

